

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

修学旅行受入による都市住民との交流

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	北海道川上郡標茶町 <small>かわかみぐんしべちやちよう</small> 標茶 <small>しべちや</small>			
協定面積 24,773ha	田	畑	草地 牧草(100%)	採草放牧地
交付金額 39,112万円	個人配分			45.8%
	共同取組活動 (54.2%)	集落協定の管理に係る支出		2.2%
		農業生産活動等		19.1%
		多面的機能を増進する活動		7.6%
		生産性・収益の向上に関する活動		19.1%
		担い手の育成に関する活動		0.7%
	その他の活動		5.5%	
協定参加者	農業者 367人、農業生産法人 18、利用組合 13、農業協同組合 2			

2. 取組に至る経緯

- ・本集落は、前期対策より消費者に顔の見える農業者を目指し、道路沿いの畜舎の屋根の塗装や景観牧柵の整備、地域の清掃活動、地域花壇の設置など農村景観を維持・増進する活動に取り組んできた。

平成 17 年度からの新たな対策では、これらの取り組みを継続し、畜舎や牧草地を中心とした牧歌的な景観を生かして魅力ある地域づくりを目指すとともに、都市住民との交流を進め、農業の応援団づくりを進めるため、学校・近隣他集落と連携して修学旅行におけるファームステイの受入を行っている。

3. 取組の内容

- ・神奈川県内の高校生の修学旅行を 2 泊 3 日で受入し農作業の体験などをしてもらっている。今までにのべ147戸の農家が 1 戸につき 2 ~ 3 名程度で受け入れしている。(H17: 1 校 97 名、H18: 1 校 76 名、H19: 1 校 79 名、H20: 1 校 78 名)
- また、平成 19 年度からは近隣集落と連携し、修学旅行受入予定の高校の学校祭へ参加し標茶町や農業のPR及び牛乳消費拡大PRなど、生徒との交流に加えて一般都市住民との交流を実施している。



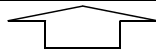
修学旅行受入（農作業体験の様子）



学校祭交流事業（地場製品の販売）

[集落の将来像]

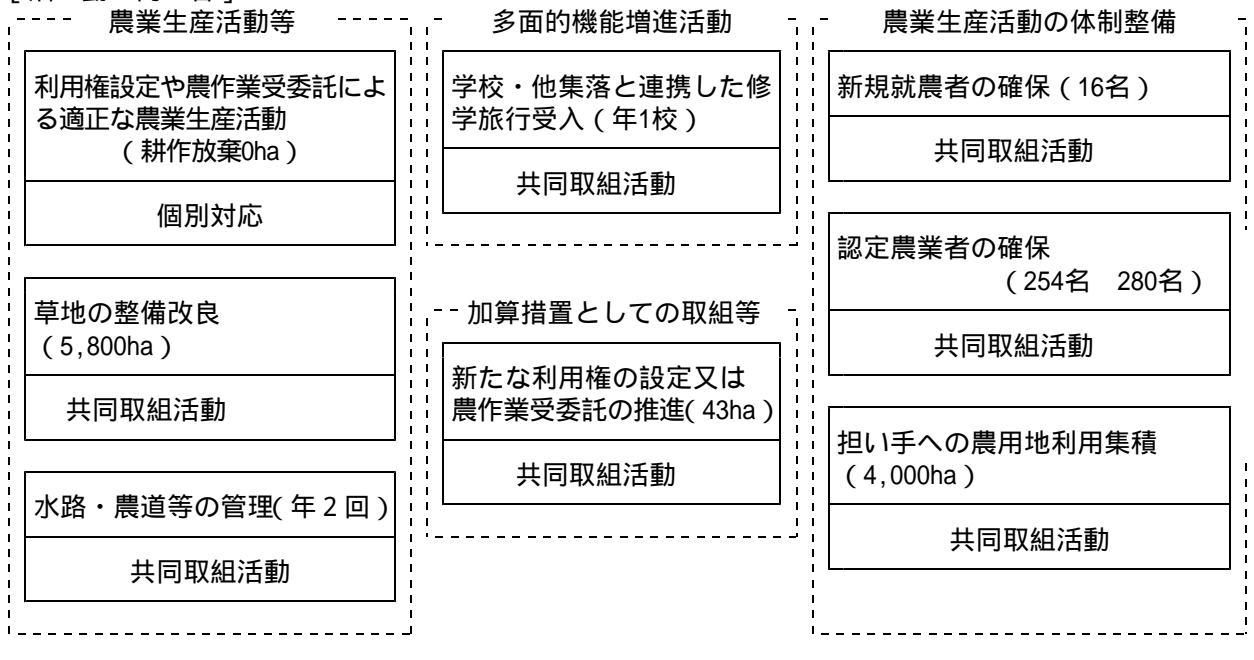
認定農業者を核とした多様な経営体が共存する農業構造の確立と、魅力ある地域づくりを目指す。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・土地資源に立脚した畜産業の推進及び裸地化の防止
- ・農村景観を活かした消費者との交流
- ・土、草、家畜の資源サイクルの確立、営農支援システムの活用等による効率的で安定的な農業の確立
- ・農業関係機関との連携による、認定農業者及び農業生産法人を中心とした担い手の確保と人材の育成
- ・生活環境の整備による活力と魅力のある地域づくり

[活 動 内 容]



集落外との連携

修学旅行におけるファームステイの受け入れを毎年、学校・他集落と連携して行うとともに受入予定の学校へ出向いての交流事業を近隣集落と連携して行う。

4 . 取組による変化と今後の課題等

修学旅行におけるファームステイにより酪農に興味を示し農業系の学校へ進学希望、農業系の職業に就きたいという生徒が増えている。

また、修学旅行受入予定の学校祭へ参加することにより、生徒との交流に加えて一般都市住民との交流も広がりつつある。今後も継続して取り組んで農業の応援団づくりを進めていきたい。

[平成20年度までの主な成果]

農用地等保全マップ活動の実践 (草地の整備改良 h19までの実績3,819ha 目標5,800ha)

新規就農者の確保 (16名 h19までの実績22名)

認定農業者の確保 (目標280名 h19までの実績289名)

担い手への農用地利用集積 (h19までの実績3,940ha 目標5,000ha)